

施策評価（平成27年度）

施策評価調書

政策コード	5	政策名	未来を担う教育・人づくり戦略		
施策コード	1	施策名	自らの未来を切り開き社会に貢献する人材の育成		
幹事部局	教育庁		担当課	高校教育課	
評価者・実施日	1次評価（教育委員会）		平成27年 月 日	2次評価（企画振興部長）	平成27年 月 日

1 施策の目的等（政策との関連、必要性、取組内容、取組後の姿 など）

秋田の将来を支え、自らの未来を力強く切り開く、気概に満ちた人材を育成するため、ふるさとを愛する心を基本に据えながら高い志と社会的・職業的自立に必要な力を育むとともに、産業構造の変化や社会のニーズに適（かな）う実践的な知識・技能の習得を図る。

2 施策の状況

（1）代表指標の状況

●施策目標（評価指標）	基準値	年度	H26	H27	H28	H29	直近の達成率	達成度
	年度							
① 高校生の県内就職率 （公私立、全日制・定時制）	65.9	目標	68.0	70.0	72.0	74.0	97.1%	B
	H24	実績	66.0					
学校基本調査	単位：%	達成率	97.1%					
②		目標						
		実績						
		達成率						

※達成度の判定基準 A:100%以上 B:80%以上100%未満 C:60%以上80%未満 D:60%未満

（2）代表指標の分析（推移の状況、実績・達成率の認識、全国順位等）

・県内就職率66.0%（学校基本調査） 県内求人数3,348人 有効求人倍率2.09倍（秋田労働局）
 ・平成26年度の県内就職率は66.0%で、平成25年度の61.5%から4.5ポイント増加している。当指標は経済動向の影響を受けやすいことから、目標の68.0%に及ばなかったものの、早期求人要請等の成果により早い時期での地元求人の増加や、就職支援員による地元求人の開拓、さらに高校生の地元志向の高まりにより着実に県内就職が促進されている。

(3) 関連指標の状況

●施策目標(評価指標)		基準値	年度	H26	H27	H28	H29	直近の達成率	備考
		年度							
①	将来の夢や目標を持っている児童生徒(小6、中3)の割合 ※小6と中3の平均値	86.4	目標	87.0	88.0	89.0	90.0	98.7%	
		H25	実績	85.9					
	全国学力・学習状況調査	単位: %	達成率	98.7%					
②	高校生(公立)のインターンシップ参加率	59.8	目標	62.0	63.0	64.0	65.0	94.4%	
		H24	実績	58.5					
	県・高校教育課調べ	単位: %	達成率	94.4%					
③			目標						
			実績						
			達成率						
④			目標						
			実績						
			達成率						
⑤			目標						
			実績						
			達成率						
⑥			目標						
			実績						
			達成率						
⑦			目標						
			実績						
			達成率						

(4) 関連指標の分析(推移の状況、実績・達成率の認識、全国順位等)

<p>①達成率が98.7%と目標達成には至らなかったが、調査開始の平成19年度から26年度の間では小学校で6.0ポイント、中学校で5.0ポイント上昇している。また、平成26年度値については全国比が小学校+8.6ポイント、中学校が+5.0ポイントで全国を大きく上回っている。これは、教育活動全体を通じたキャリア教育の推進によるものである。</p> <p>②平成26年度のインターンシップは、県立全日制43校(分校2校含む)、公立全日制2校、県立定時制3校、特別支援学校1校、私立全日制5校で実施した。高校2年生の在学者数に対する実施率は、58.5%で前年度比0.1ポイント増加した。平成25年度からは進学校においても医療系インターンシップの実施があったほか、インターンシップの受け入れ企業の開拓に引き続き取り組んでいる。</p>

(5) 施策の推進状況（施策の方向性ごとに記載）

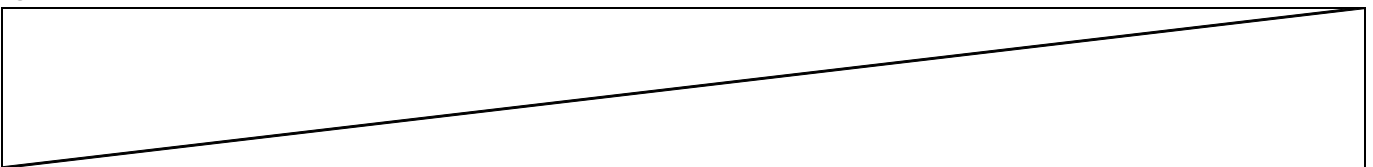
① ふるさと教育を基盤とし地域等と連携したキャリア教育の充実

- ・「学校教育の指針」（秋田県教育委員会）には、ふるさと教育等との関連を図りながら地域に根ざしたキャリア教育を推進していくための重点として、「地域の活性化に貢献する活動」や「体験的な活動の充実」などを掲げ、各小・中学校におけるキャリア教育が一層充実するように啓発を図った。
- ・「キャリア教育推進協議会」において、県内の学識経験者、企業関係者及び保護者代表等からなる委員により、「地域に根ざしたキャリア教育」を一層推進していくための連携の在り方について協議を行い、現状と今後の方向性を明らかにした。
- ・学校訪問において、各小・中学校のキャリア教育の状況把握に努め、具体的な指導助言を行ったほか、キャリア教育研究協議会等においても、先進的な実践発表や校種を超えた協議、広域的な情報交換等を行うことにより、県内各校における地域や家庭、企業等との連携及び校種間連携による「地域に根ざしたキャリア教育」の一層の充実を図った。
- ・すべての県立高校で、地域の企業をキャリアアドバイザーが紹介する「ふるさと企業紹介事業」を実施した。
- ・キャリアアドバイザー・就職支援員による、各高校のインターンシップ・ボランティア等の体験活動支援を行ったほか、地元外部人材等の活用支援を行った。
- ・就職状況ネットワークを活用した求人情報の共有と就職未決定者支援を行った。

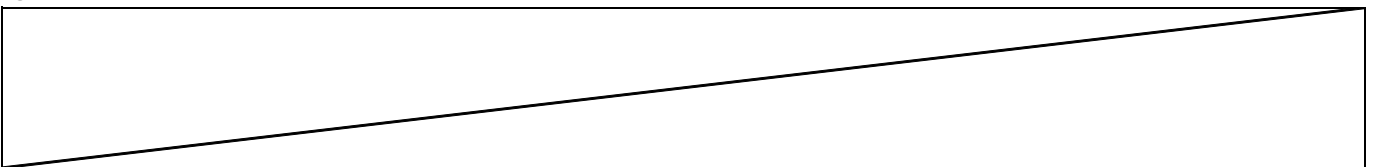
② 社会のニーズに応える専門高校等の教育の充実

- 取組① 専門高校等の教育内容の充実による地域産業を支える人材の育成
 - ・産業構造の変化に対応するよう教育内容や指導方法の充実を図るとともに、専門高校を中心に産業教育設備の更新等に努めている。
- 取組② 地域企業等との連携による地域産業を支える人材の育成
 - ・最新の技術や専門知識を有する大学教員、医師、技能者等の職業人による授業を実施し、学習の深化や職業意識の育成に努めている。
 - ・農業関係等で長期インターンシップ(10日間程度)を実施している。

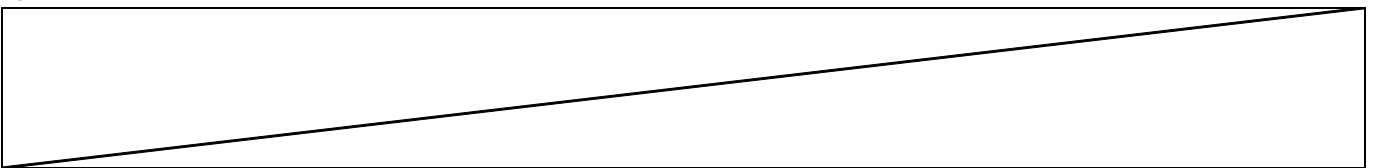
③



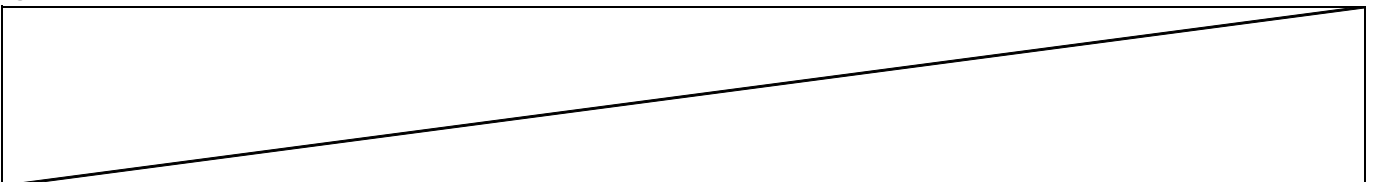
④



⑤



⑥



3 総合評価

(1) 教育委員会による1次評価

評価結果	概ね順調
評価理由	代表指標の達成度は「B」となっているが、達成率がほぼ100%に近く、また、2つの関連指標ともに目標から多少下回っているものの達成率は90%台で全国値を上回っている。平成25年度から進学校での医療系インターンシップや農業関係等での長期インターンシップを実施するなど、地元企業との繋がりの充実・強化が図られており、施策の効果が表れてきていると考える。以上の理由から、本施策の総合評価は「概ね順調」とする。

(2) 企画振興部長による2次評価

評価結果	概ね順調
評価理由	ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の推進については、すべての県立学校で、地域の企業を紹介する「ふるさと企業紹介事業」を実施したほか、就職支援員等による県内求人開拓、企業情報の提供などきめ細かな就職支援を行ったことなどにより、代表指標である「高校生の県内就職率」は前年実績を上回り、目標をほぼ達成している。 専門高校等の教育の充実についても、専門知識を有する医師や技能者等の職業人による授業を実施し、職業意識の醸成に努めたほか、農業関係等で長期のインターンシップを実施するなど、地域企業等と連携した取組を進めることなどにより、関連指標である高校生のインターンシップの参加率も概ね目標を達成している。 以上のことから、施策は「概ね順調」と評価される。

4 課題と今後の対応方針

① 課題（施策目標達成に向けた新たな課題、環境変化等により生じた課題 など）

○「地域に根ざしたキャリア教育」においては、各校では、地元企業等と連携した商品開発の取組や、修学旅行等で地域のよさをPRする活動、地域の祭りへの参画や名所での観光ボランティア活動などが盛んに行われ、地域の活性化に貢献するキャリア教育の充実が図られてきており、学校や子どもによる地域行事への積極的な参加の気運が高まる中「地域の活性化に貢献する活動」の重要性がますます増大している。

○本県の産業構造の転換に向け、県内企業の航空機産業やICT産業等への参入の促進を進めており、これらの産業を担っていく人材の育成が求められている。また、人口減少、少子化対策に向け、地元秋田を支える人材の育成を推進していく必要がある。

② 今後の対応方針（重点的・優先的に取り組むべきこと）

○各校で進められている、地域の活性化に貢献する活動等の地域に根ざしたキャリア教育の実践や成果について様々な形で発信することにより、県内のキャリア教育の充実を図り、産業活性に結び付く気運を今後一層高めていく。

○就職の意欲を高め進路を切り開く生徒を育成するために、キャリア教育の一層の充実を図るとともに、進路目標の達成に向けて、キャリアアドバイザー・就職支援員による生徒への就職支援活動を一層推進する。また、本県産業界が求める実践的、専門的な技術・技能をもつ人材の育成を図っていく。

5 政策評価委員会の意見

--